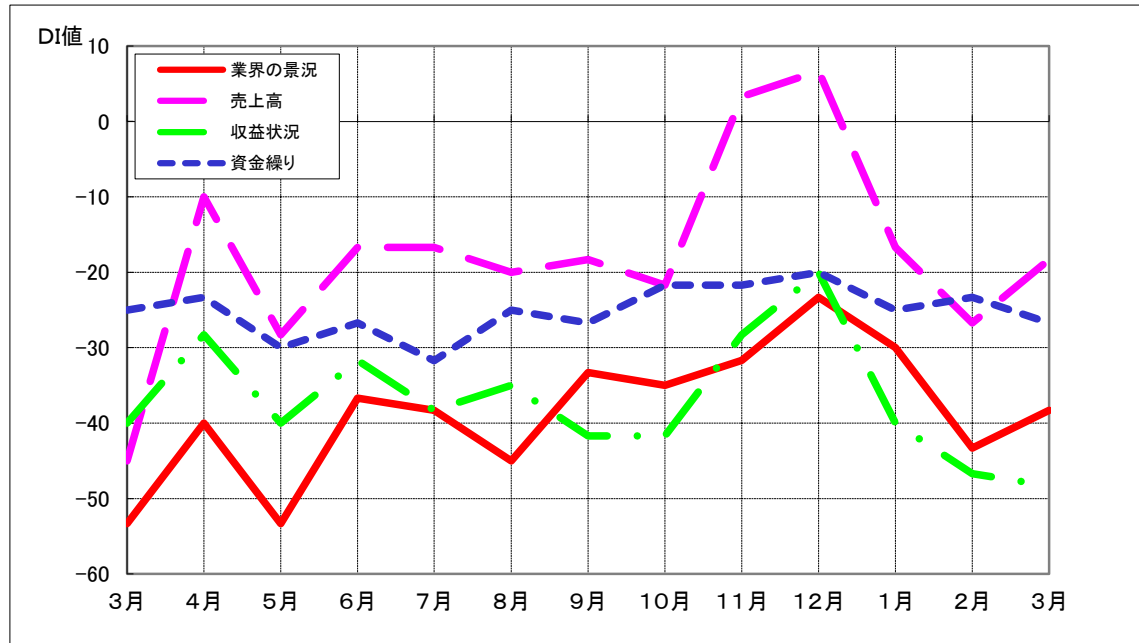


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年3月～令和4年3月

単位:ポイント



	R3												R4		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
業界の景況	-53.3	-40.0	-53.3	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3		
売上高	-45.0	-10.0	-28.3	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3		
収益状況	-40.0	-28.3	-40.0	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3		
資金繰り	-25.0	-23.3	-30.0	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7		

3月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化であった。「売上高」DI値は8.4ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイント、それぞれ改善、「資金繰り」DI値は3.4ポイント、「収益状況」DI値は1.6ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比でみると、2項目改善、2項目悪化であった。「売上高」DI値は26.7ポイント、「業界の景況」DI値は15.0ポイント、それぞれ改善、「収益状況」DI値は8.3ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイントそれぞれ悪化した。

製造業においては、2月に引き続き、材料価格や資源価格の高騰及びそれに伴う収益の悪化が報告されている。食品製造業においては値上り分について価格転嫁の動きが活発化している。一方で鉄鋼・金属関連業では転嫁に苦労している。その他、一部では人材不足が問題となっており求人を出すに応募がないとのことである。

非製造業においては、「まん延防止等重点措置」は解除され、商店街では若干の人流増加へ繋がったようではあるが、売上の回復までは至っていない。また、新型コロナウイルスの影響から、送別会や歓迎会の動きは少なく関連業種では厳しい売上となっている。

業界によっては、新型コロナウイルスの影響による需要の減少及び、各種材料・資材の値上げによる収益の低下の両方の影響を受け厳しい状況に追い込まれている。